

有田川町議会広報

# 九ねん版

平成 31 年 2 月 発行

## 第 52 号

発行 有田川町議会  
発行責任者 議長 殿井 堯  
住所 〒 643-0021  
和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野2018番地4  
TEL 0737-52-2111  
FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>



有田川町消防団出初式でポンプ操法を披露（吉備支団）

新年のごあいさつ



# 今年も全力で



議長 堯 殿井



副議長 英世 小林

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2月には、私ども16人の議員が選出されましたこと、改めて深くお礼申し上げます。使命の重大さを痛感する

とともに、気持ち新たに、今後有田川町の皆さま方のために、努力してまいりたいと思います。

一方、国内ではたび重なる地震や台風襲来、豪雨など、大規模な自然災害が相次ぎました。犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。本町においても台風の影響により、長期におよぶ停電が発生するなど、災害に強いまちづくりの重要性を再認識したところでもあります。

地方自治体を取り巻く環境は厳しく、今後ますます行財政運営の困難さが増していくものと思われれます。

そうした中にありましても、町民の代表として皆さま方のご意思を町政に反映させるべく、議会としての役割を全力で果たしてまいりたいと思います。どうか本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆さまにとって明るく素晴らしい年となりますよう、また、ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

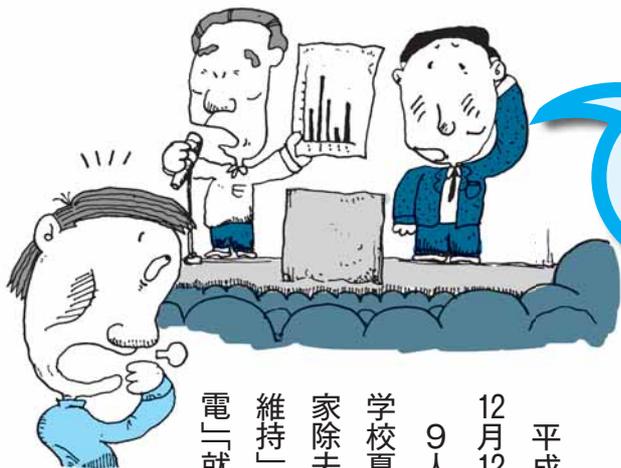
# 幸せをはこぶコウノトリ

かけるくん

—有田川町特別住民に—



平成30年11月12日認定  
平成29年5月14日越前市生まれ  
おもに 鷹巣池・平池に定住



# 多様な課題を 取り上げました

## 一般質問 9 議員が質問

平成30年 第4回定例会の一般質問は、  
12月12日に行われました。

9人の議員が「道路標識の設置」「小中  
学校夏休み統一」「県知事選挙投票率」「空  
家除去補助」「過疎対策」「保田紙の継承と  
維持」「風水害時の避難」「風力、太陽光発  
電」「就学援助」などについて質問しました。

次回、平成31年第1回定例会の  
一般質問は、3月18日、19日に予  
定しています。

1. 佐々木 裕 哲…… 4ページ
2. 星 田 仁 志…… 5ページ
3. 椿 原 竜 二…… 6ページ
4. 殿 井 堯…… 7ページ
5. 中 島 詳 裕…… 8ページ
6. 岡 省 吾…… 9ページ
7. 小 林 英 世…… 10ページ
8. 増 谷 憲…… 11ページ
9. 堀 江 眞智子…… 12ページ

# 誰でもわかる道路標識を



佐々木 裕 哲

## コスモスパークへの道路標識設置を

**町長** 平成31年度で増設したい

**質問** コスモスの花が咲く時期は、県内外から多くの人がコスモスパークに車で来られる。しかし、道路案内が少なく非常に困っているとの声が多い。もっとわかりやすい標識を設置してはどうか。

**町長** カーナビでは、海南東インターを経由して、東急ゴルフ場へ案内される。



コスモスパーク

そこからは道が狭く大変だという話を聞いている。

来年度は予算化して看板の増設を図る。道路案内は、吉備インターを経由する田口ルートに一本化することを進める。

**質問** シーズン中、何人くらい来られているのか。

**部長** 平均して1万人くらいの人が来てくれている。

**質問** 公園を管理しているシルバー人材センターも電話での道案内は困っているのではないか。

**部長** 確かに、案内するのが難しいとは聞いている。

## きびドームや議場の音響機器の更新を

**町長** 平成33年度からの庁舎大規模改修で対応したい

**質問** 会議や講演などできびドームを使用する場合、備え付けマイクの音がハウリングして聞こえ

にくいとの声が多い。また、議会本会議場の録音機器も不調で、質問や答弁の録音ができなかったことがあった。

今後、これら音響機器の故障に対してどのように対応するのか。

**町長** きびドーム、吉備庁舎は建設後20年以上経過している。いずれも最少の修理はしたものの更新されていない。音響機器のすべてを更新すると大きな費用がかかるが、吉備庁舎の大規模改修時（平成33年度予定）にあわせて対応したいと考えている。

## 鳥尾池の流入土の搬出は

**町長** 県と協議する

**質問** 鳥尾池では上流からの流入土で水抜き栓の埋まりが繰り返し返されており、水利組合が土砂の搬

出を行っている。

鳥尾池は貯水形式ではなく、川の中にあるダム形式であり、二級河川の吉見川と鳥尾川を経由して排水しているため、県が管理し搬出すべきだと考えるがどうか。

**町長** 県に聞くところのような池は他にないという。今後、県と協議する。

**質問** 流入土は県が責任を持ってくれるということで理解してもいいのか。

**町長** そうなる。



鳥尾池



# 小・中学校の夏休みの統一を 携帯電話の不感地域の解消は

星 田 仁 志

**小・中学校の夏休みは  
統一すべきではないか**

**教育長**  
校長会と相談して  
統一していきたい

**質問** 旧3町合併後、いろいろな面で集約して、一つになってきているが吉備地区の小学校だけが一週間遅れた夏休みとなっている。小・中学校の夏休みは統一できているか。何か理由はあるのか。

**教育長** 夏休みは、学習指導要領の基準時間を考え、地域の特性も考慮し決定している。

一方、吉備地区の小学校は別として他校の休み期間は統一されている。

2020年度に学習指導要領の改定があるので、その時点で校長会と相談しながら統一していきたい。

**意見** 吉備剣道クラブの小学生在全国大会への出場権を得たが、その全国大会が夏休み前に開催されたため出場が困難となった。



平成30年7月24日、25日（日本武道館）



今後、このような問題が起らないよう、2020年度からではなく、来年度から実施するよう配慮していただきたい。

**町長**  
解消にむけて要望  
していく

**携帯電話の不感地域は**

**質問** 携帯電話は、今や一人一台かそれ以上所持しており、なくてはならないものになっている。町内で現在不感地域（サービスエリア外）は何か所あるのか。町内全域で通じるようにはできないのか。

**町長** 順次解消されてきているが、現在、町内の不感地域は9地区、10カ所ある。毎年県へ要望しているが、民間事業者の採算性の問題もあり難しい。今後も不感地域の解消に向けて要望していく。

**質問** 民間事業者は営利を目的にしているのので、不採算地区が未改修なの

は当然だ。そこを町として町内全域で携帯電話が通じるよう取り組むべきである。  
この件に対して区長から町へ要望書が提出されているが、県への要望はしているのか。

**部長** 要望書は毎年県へ提出している。ある事業者も解消に向けて取り組むという話は聞いている。

**質問** 有田川町は観光にも力を入れている。もし、観光客が有田川町を訪れて、携帯電話が通じない場所では何らかの事故に遭った場合、連絡方法がないと非常に困る。  
緊急時の連絡方法がないことをどう考えるか。

**部長** 携帯電話は重要な通信手段であると考えている。前回の災害時にも移動通信車を配置していただいた。また、非常電話の設置を依頼し、情報の確保に努めている。

# 色覚特性を理解し、配慮と対応を！ 投票率低下問題に対する取り組みは



椿原竜二

色覚チヨークを全校に導入してはどうか

部長 できる限り導入していきたい

質問 日本人男性20人に1人が「色覚特性」があると言われている。

消防職採用時の色覚検査の実施と結果の影響は。

消防長 消防業務の消火活動・危険物の取り扱い・救急搬送・人命救助など、迅速かつ的確な判断が必要となる。

色は重要な判断要素であり、色覚の状況を的確に把握する必要があると考えている。

質問 採用選考基準には「赤色、青色および黄色の色彩の識別ができること」と明記されている。

信号機の判別ができ、車の免許証が取得できれば、採用されるという認識でいいか。

消防長 車両の運転が可能であれば、対応できると考えている。

えている。

質問 平成15年から義務では無くなった小・中学校の色覚検査受診率は。

教育長 平成30年度は、小学校約93%、中学校は約21%。

質問 色の明度や彩度に差がある「色覚チヨーク」を全校に導入するべきだと考えるが。

部長 できる限り可能な範囲で色覚チヨークを導入していく。

質問 各学校で色覚特性者への理解度、配慮の内容、持っている情報の差が大きいと感じる。教育委員会でも理解をして、各学校に指導や、情報提供をすることが大切だ。

また、学校同士での情報共有も強化するべきだ。部長 あらゆる機会を活用して、情報の共有を図っていく。

投票率の低下をどう考えているか

町長 政治への関心の薄れが懸念される

質問 11月25日執行、和歌山県知事選挙の投票率は、有田川町が有田郡内で一番低く、約48%だったが投票率の低下をどう考えるか。

町長 若年層の投票率の低さがあり、住民の政治への関心の薄れを懸念するところである。

質問 本町が行った啓発活動は。

部長 広報車・農電放送・防災行政無線での放送、街頭啓発、ホームページへの掲載を行った。

質問 平成30年第1回定例会で提案した「SNSを活用した啓発活動」その後の経過は。

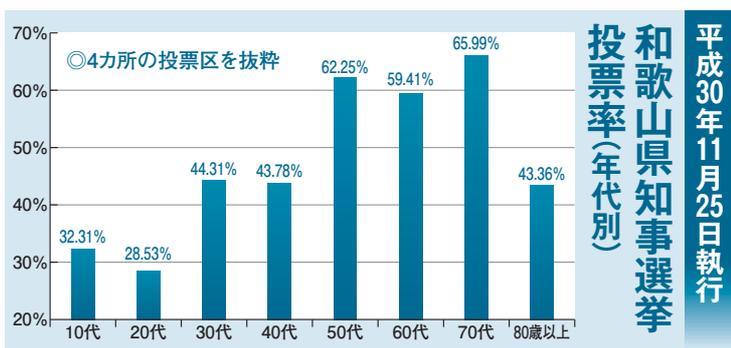
部長 県の選挙管理委員会

活動を行った。

本町でも、公式のインスタグラムを、11月末に立ち上げた。今後、SNSの活用も行っていきたい。

質問 県下で初めて行った「移動期日前投票率」の実績と今後の方向性は。

部長 合計72人の投票者だった。今後は、利用状況を見ながら、課題などを検証していきたい。





# 空き家対策はどうか

堯 井 殿

潮光園建設予定地にある本町所有の土地はどうなっている

町長  
今後、調査する

**質問** 潮光園が有田衛生施設事務組合周辺へ移設するが、完成時期は。

**町長** 平成32年度中の完成をめざしている。

**質問** 潮光園も含めて、今後、有田郡市で大きな事業計画がある。地元への発注はどうか。

**町長** 地元業者に入ってもらえるようやっていきたい。

**質問** 本町の所有の土地はどのくらいあるのか。

**部長** 本町の所有の土地は建設予定地で18%である。また有田衛生施設（湯浅町）のところは41%である。

**質問** 本町の所有地はどのような条件で貸しているか。

**部長** 手持ちの資料では、



潮光園建設予定地（有田衛生施設周辺）

詳細が分からない。今後、関係町と調査する。

町長  
空き家対策は柔軟に  
補助制度などで  
対応する

**質問** 空き家解体のために50万円の補助金制度がある。

しかし、つぶれる寸前まで空き家を放置しないと対象とならないのか。

**町長** 不良空き家除去補助金制度がある。補助対象は、

周辺建築物や道路などの公共施設に著しい悪影響をおよぼす恐れがある住宅で、町が「不良空き家」の認定をしたもの。今年度の助成対象としている「不良空き家」は住宅地区改良法に定める「不良住宅」の基準を満たす必要がある。

現在、空き家発生の予防、

利活用の促進、危険空き家への対応を軸とした「有田川町空き家等対策計画」の策定に取り組んでいる。この計画で対応していきたい。

**質問** 持ち主がいらない危

険な空き家はどうか対応し  
たらいいのか。

**町長** 相続人がない場合、利害関係人から特別代理人制度を利用した訴訟の手続きや弁護士に相談する必要がある。所有者がいらない場合、行政代執行や略式代執行の措置がある。

あるいは区長からの要望で、対応が必要と判断した場合、「空家法」に基づき、適切な管理を促進するため  
の情報提供および助言などを行う。



対策が求められる空き家

# 本町の過疎対策と森林災害は ふるさと納税制度の現状と今後の課題は



中 島 詳 裕

## 過疎地域における 集落対策への取り組みは

**町長** 課題解決に向け  
住民との協議を  
積極的に進める

**質問** 山間部では、高齢  
化や人口減少で集落機能  
が落ちてきている。  
今後、過疎化が深刻化  
することは確実であり、  
現状においてどのような  
集落対策を講じるのか。

**町長** 集落の厳しい現状は  
把握している。山椒をはじめ  
めとする農林業の振興、移  
住交流事業の促進などによ  
り地域の活性化を図りたい。

**質問** 集落の課題や要望  
など、区長の担う役割や  
負担が大きい。集落支援  
員制度を活用して支援で  
きないか。

**町長** 事業の内容も含め、  
すでに実施している市町村  
の取り組みを参考に検討し  
たい。

## 森林災害の 被害状況と対策は

**町長** 国・県の補助事業  
および基金事業な  
どで取り組む

**質問** 台風21号により、  
倒木、山腹崩壊などの森  
林被害が多数発生した。  
被害状況や今後の復旧対  
策はどうか。



台風21号の被災状況（粟生地内）

**町長** 被害状況は、風倒木  
被害29カ所で約11ha。山腹  
崩壊は7カ所の約3ha。森  
林被害は、被害額、面積な  
ど国の基準を満たせず災害  
復旧の対象にならない。従  
来の森林整備事業で取り組  
んでいきたい。

**質問** 従来の森林環境保  
全直接支払い事業で復旧  
となると森林所有者の負  
担はどうなるのか。

**部長** 国51%、県17%、町  
17%の合計85%。残り15%  
が所有者負担となる。

**質問** 来年度からの森林  
環境譲与税を財源に所有  
者負担をなくせないか。

**部長** いろいろな制約もあ  
るが、負担軽減に努める。

## 本町のふるさと納税 制度の現状と課題は

**町長** ふるさと納税制度  
の主旨を踏まえ積  
極的に取り組む

**質問** ふるさと納税は町

にとって貴重な財源であ  
り、納税者を増やす取り  
組みや工夫が必要だ。  
返礼品は国からの指導  
があったが、今後どのよ  
うに対処するのか。

**町長** 返礼品は、従来から  
有田川町産を基本にしてき  
た。指導に従い徹底してい  
く。

また、新たな返礼品の掘  
り起こしとホームページな  
どで積極的にPRをする。

**質問** 納税目標を大きく  
掲げて、新たな産品開発  
に町内のさまざまな事業  
者に協力していただき、  
有田川町らしい返礼品メ  
ニューを増やしていけな  
いか。また、そのための  
体制づくりは。

**副町長** 幅広く皆さんの意  
見をいただき、新たな商品  
を掘り起こしていきたい。  
その上で体制も他の市町村  
を参考に検討していく。



# 『保田紙』紙すき技術の継承を『鉄道交流館・鉄道公園』の今後は

## 岡 省 吾

### 紙すき技術の継承は

**町長** 従事者の生産意欲が高まるように考える

**質問** 郷土伝統工芸の「保田紙」に対する町の位置付けは。

**町長** 産業用和紙としては、生産量、安価、均一性が求められ、機械すきの和紙に太刀打ちできない。しかし、今後とも農村と都市との交流、観光産業としての役割を持たせながら、維持できるように努力したい。

**質問** 手すきだからこそ味ある和紙。品質はどこにも劣らない。ブランドを前面に出してPRを。

**部長** 町指定管理の施設などで「保田紙」関連商品の販売や使用、積極的な宣伝などに努めてきた。



今後「わらし」の従業員と協議しながら、最善のPRを模索していきたい。

**質問** 紙すき技術の継承の考えは。

**町長** 多くの方に技術習得をお願いしてきたが、思うように成果が上がっていない。離職要因として、賃金体系や技術習得の難しさなどが挙げられる。国が進める「働き方改革」に準じて、従事者の生産意欲が高められるように考えたい。

**質問** 教育現場での郷土伝統を学ぶ機会は。

**教育長** 社会科の副読本を学習教材として活用。また、「わらし」において紙すき体験や行灯づくりなどを学習の一環に取り入れ、郷土愛を育む教育に努めている。

**質問** 「保田紙」を利用した卒業証書の現状は。

**教育長** 清水地域の小中学校と西ヶ峯小学校で用いている。他の学校は、卒業生



体験交流工房「わらし」の紙すき作業

の数が多く、短期間での制作や書き手の問題などの理由で実施されていない。今後、これらの問題が解決できれば率先して利用したい。

### 鉄道公園の位置付けは

**町長** 世代を超えて楽しめる観光施設に

**質問** 人気を博したSL(D-151)の動向と線路修繕の方向性は。

**町長** SL乗車体験の集客数は、前年との比較で大きく

上回り、大変な効果であった。現在、SLを所有する会社がメンテナンスをしながら、他の借入先を検討されている。今後の方向性は所有会社と協議しながら進めたい。SLの重量に耐えうる線路修繕は難しいが、軽いディーゼル車両の走行に支障が出ないよう、次年度に、ボルトや枕木、ポイントの交換などを行う。

**質問** 鉄道公園周辺施設の位置付けは。

**町長** 旧有田鉄道の歴史を後世に伝えることのと、地域交流の場としての役割を担っている。

また、貴重な動態保存車両や、電車模型をジオラマ内で動かせる体験などは、観光客誘致の主たる役割でもあり、今後も効果的に魅力を発信する。

地域の皆さんが気軽に集えるよう、朝市やフリーマーケットなども企画し、世代を超えて楽しめる観光施設としていきたい。

# 風水害時の避難行動は柔軟に!! プラスチックゴミ汚染の認識は?



小林英世

地域外の指定避難所の

利用は可能か

町長

可能である

質問

台風20号・21号・24号で開設された指定避難所の状況はどうか。

町長

開設箇所と避難者数

20号で14カ所、42人。

21号で14カ所、153人。

24号で53カ所、27人。

部長

24号の53カ所のうち、20カ所は職員を派遣したが、33カ所は地元で開設していただいた。

開設方法は、今後も地域に応じた対応を検討する。

質問

台風24号では、避難される方が町全体で大きく増えたが、吉備地域でかなり減少した。どう考えるのか。

町長

避難時に不安がある方からの問い合わせに金屋文化保健センターを紹介したためと考える。周辺地域以外の方も含め、77人の方

が避難された。

金屋文化保健センターは畳の間があり、空調も完備している。



避難時対応のダンボールベッド（金屋文化保健センター）

質問

吉備地域の避難所の多くは体育館で、高齢者の方などには厳しい環境だ。それが減少の大きな原因と考える。

部長

指定地域外でも利用していただければよい。

質問

台風24号での避難行動要支援者の避難状況は。

町長

227人中135の方が避難された。

質問

今後の課題は。

町長

今年たび重なる台風で避難行動を選択してくれた人が増えた。

地域で避難所の開設ができないかということや、避難に不安のある方にも配慮した避難所開設のあり方を検討したい。

懸念されるプラスチック汚染

町長

自治体での対応は限られるが、分別など地道な活動を徹底する

質問

町内のプラゴミ回収率は。

町長

供給量が分からないので回収率は出せない。町民の協力で分別が進んでいるので、ほとんど回収していると考えている。

質問

町内プラゴミのリサイクル率は。

町長

平成29年度町営リサイクルセンターに311トン持ち込まれ、97%が再利用されている。

質問

燃えないゴミや産業廃棄物の処理は。

町長

裁断し、最終処分地に埋設している。

質問

小さなプラスチックの海洋汚染が心配されている。それはプラスチックが劣化し、非常に小さい粒子になったもので、分解されず回収もできない。今後、人体の至る所に吸収され、悪影響も懸念される。これについての見解は。

町長

ストロー使用制限など、世界中が懸念していることは承知している。科学的な知見にも注目したい。今できることは、正しい分別やポイ捨て・不法投棄の撲滅など地道な活動と考える。



# 風力・太陽光発電施設の規制条例を!

## 増 谷 憲

海南・紀美野  
風力発電計画はどうか

町長 反対が多ければ  
難しいと思う

質問 海南・紀美野風力  
発電計画は、どのような  
状況か。

町長 反対の地域が増え、  
看板も増えてきて、これだ  
け反対があれば建設は難し  
いと思う。

関係地区の役員への説明  
やゴルフ場で風況調査を実  
施している。また、社内  
における事業可能性調査の最  
終段階にある。

担当課からは、地域住民  
の不安がかなり高まっている  
ので、関係する地区への  
説明会や全住民を対象にし  
た事業説明会の開催を伝え  
ている。

質問 中紀第1期・第2  
期ウインドファーム風力  
発電計画は、今後予想さ  
れる地震や台風、低周波  
被害への対応はどうか。

町長 土砂災害への対応は、  
県の林地開発計画にそって  
進められる。低周波被害は  
専門家の意見として提起さ  
れると考えている。

質問 上六川の大規模太  
陽光発電施設の法面が崩  
壊している。現地調査の  
申し入れを求める。

町長 今後、日程の調整を  
して進めていきたい。

質問 風力や太陽光発電  
を規制する、あるいは、  
住民が検証できる条例が  
必要ではないか。

町長 今のところ制定を考  
えていない。



学校給食無料化はどうか

町長 無料化はしない

質問 文部科学省が認め  
ている給食費の無料化は  
どうか。

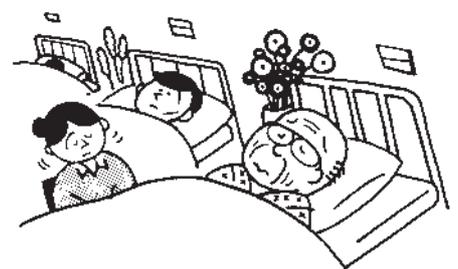
町長 私は、母親がつくつ  
てくれた弁当で親子のつな  
がりがあった。お金ではな  
い。議員と考え方が違うの  
で私が町長の間は、無料化  
はしない。

ヘルパーの家事支援は  
その人の状況をみて

部長 検討している

質問 65歳以上の障害が  
ある方などは、障害福祉  
制度でなく介護保険が優  
先される。しかし、介護  
保険に同等のサービスが  
なければ障害福祉サービ  
スが受けられるか。

町長 介護保険サービス以



外の障害者サービスを希望  
する場合は、それを利用で  
きる。

質問 訪問介護の生活援  
助。ホームヘルパーの家  
事支援は、国が決めた回  
数以上利用する場合、妥  
当かどうか判断される。  
機械的でなく、その人の  
状況をみて判断を。

部長 検討している。

質問 参加者同士が知識  
や経験を伝え合う交流の  
場をつくってはどうか。

部長 地域包括支援センタ  
ーで、交流事業の運営を充  
実にしていきたい。

# 子育て日本一をめざして できるすべての取り組みを



堀 江 眞 智 子

小学校入学前に、就学援助の  
入学準備金給付を

町 長  
2020年度から  
実施したい

**質問** 就学援助とは、生活保護を必要とする世帯または、生活保護に準じた保護が必要な世帯の児童生徒に対し、義務教育を円滑に実施することができるよう学用品費や修学旅行費など一定の援助を行う制度である。

県内や全国的にも入学前支給が実施されている。町の子育てに関わる心意気に分かる目安のひとつではないか。

有田川町では、すでに中学校入学準備金の入学前支給が実施されている。先日の「住民要求大運動交渉」でも、小学校入学前の入学準備金支給を求める要求があったが、小学校入学児童にも入学前支給を実施してはどうか。

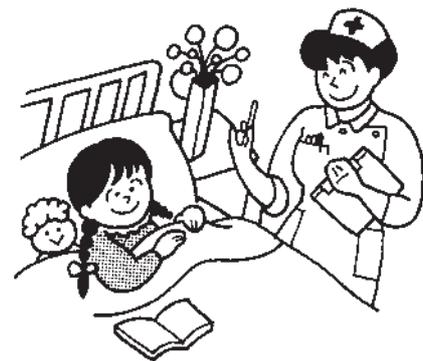


**町長** 小学校入学前支給は、県内他市町村の動きをみて、2020年度から小学校へ入学する児童に実施できるようにしていきたい。

風しんワクチン接種  
費用助成の拡大を  
町 長  
来年度より39歳から56歳までの男性を対象にする

**質問** 都市圏を中心に風しんが流行している。風しんの予防接種は男性が39歳以上、女性が56歳以上の方が受けていないという。

妊婦が風しんにかかる子どもに障害が残る可



能性が高いことが分かっている。現在、妊娠を希望する女性とその配偶者への予防接種補助が行われているが、現状はどうか。

**町長** 風しんワクチン予防接種は、法定定期接種として1歳児と小学校入学1年前の幼児を対象に2回の接種を行っている。

また、町風しん予防接種費用助成事業では、19歳以上50歳未満の女性および妊娠している女性の配偶者に予防接種費用1万円（うち5千円は県補助）を助成している。



**質問** 国がこれらの助成実施を決定したと報道していたが、詳細は分かっているのか。

**町長** 国は平成31年度より39歳から56歳までの男性を対象に、風しんワクチンを接種する。

**質問** 風しんにかからない、かかりにくい状態であるかどうかを調べる抗体検査実施費用の助成を考えてはどうか。

**町長** 県の事業で保健所が窓口となって抗体検査を実施している。町独自の助成は現時点では考えていない。

# 平成30年度一般会計補正予算（第5号） 10億3407万9千円

平成30年第4回定例会は、12月4日から18日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は、原案の通り可決しました。

また、平成29年度一般会計および各特別会計決算を認定しました。

## おもな事業内容

(金額の単位：万円)

項 目	金 額	おもな事業
総務費	財産管理費	94 集会所改修補助（台風被害による）
	企画費	4000 報償費（ふるさと納税返礼品に充てる）
民生費	老人福祉費	1377 潮光園移転建設に係る負担金（有田周辺広域圏事務組合）
	児童措置費	1600 児童発達支援事業給付費補助
衛生費	し尿処理費	2284 クリーンセンター運営分担金（有田周辺広域圏事務組合）
農林水産業費	農業振興費	9500 台風により被災した農業者が有する施設の復旧
土木費	道路新設改良費	5000 町道北筋西丹生区2号線の土地購入と物件補償費
消防費	消防施設費	146 台風により損壊した二澤区消防車庫の修繕費
教育費	学校管理費	219 町内小・中学校の新入生に対応するため机・椅子を購入
	公民館費	68 生石公民館（糸野地区）のエアコン修繕費
災害復旧費	その他公共施設 災害復旧費	5616 台風により損壊した光通信ケーブルの復旧工事委託料
諸支出金	基金費	8000 ふるさと応援基金積立金



クリーンセンター（し尿処理施設・長谷川地内）



台風により破損したケーブル

### 補正予算質疑

**【質疑】** 潮光園の設計において本町のうち負担額は1377万9000円であるが、全体の設計費はいくらか。

**総務政策部長** 5561万円である。

**【質疑】** 全体の事業費と本町の負担金はどのくらいか。

**総務政策部長** 実施設計、施設整備工事費、設計監理費合わせて約14億2600万円である。本町の負担金は均等割20%、人口割30%、利用者割50%で計算すると約2億7360万円。



現特別養護老人ホーム「潮光園」



潮光園建設予定地の有田衛生施設と周辺用地（湯浅町）

**【質疑】** 現地での建て替えは難しいと思うが、建設場所はどこになるか。また、運営はいつからになるか。

**総務政策部長** 建設場所は、湯浅町の有田衛生施設事務組合施設付近を予定している。運営は平成33年4月開所をめざしている。

**【質疑】** 湯浅の衛生施設付近には、旧町から引き継いだ本町の土地があったはずだが。

**総務政策部長** 計画している土地は、有田川町・湯浅町・広川町の共有名義分、湯浅町・広川町の共有名義分、湯浅町単独名義分が混在している。

**【質疑】** 県議会議員選挙費を補正で計上している理由は。また、当初予算では間に合わないのか。

**総務政策部長** 「地方公共団体の議会議員及び長の任期満了による選挙等の期日等の臨時特例に関する法律」と施行令が施行された。県議会議員選挙は平成31年3月29日告示で4月7日が投票日と決定し、それに合わせて期日前投票の費用として今回補正予算を計上した。

**【質疑】** 有田周辺広域圏事務組合分担金の内容は。

**総務政策部長** 長谷川のクリーンセンター建設事業の用地購入費5000万円にかかる負担金である。

**【質疑】** 情報通信基盤施設災害復旧委託料5616万円の内容は。

**総務政策部長** 台風21号で被害を受けた光ケーブル（電話・テレビ・インターネット）

ネット)を仮復旧したが、今後、本復旧を平成30年度と31年度で行う予定。今回の補正予算は平成30年度分の委託料である。工事は完了は平成31年度である。

**質疑** 銀行等資金繰上償還金6億3144万2000円だが「紀陽銀行」「JAありだ」それぞれの利率何%の分を何件繰り上げ償還するのか。  
また、繰り上げ償還することに、利息はどのくらい違うのか。

**総務政策部長** JAありだからの借り入れ分は7件、紀陽銀行からの借り入れ分は1件である。利率は2.3%から1.38%になっている。  
平成31年から平成41年までの利子、約6000万円が不要となる。

**その他の補正予算**

◎平成30年度  
一般会計補正予算  
(第4号 専決処分)

4億7943万円  
台風20号・21号により災害が発生し、早急に復旧工事を実施する必要が生じたため、専決処分を行ったもの。  
**質疑** 町道などに災害当時の枝などをそのまま残しているが、年内に撤去するのか。

**建設環境部長** 道路脇に放置されている樹木の撤去は進めているが、残っている箇所は平成30年度中に対応することになる。



道路脇に放置されている樹木

◎平成30年度  
一般会計補正予算(第6号)

各特別会計補正予算  
一般会計1486万円  
特別会計 142万円  
人事院勧告による職員の給与改正に伴うもの。

**条例の一部改正**

◎町税条例

固定資産税の前納報奨金、交付額の見直しに伴う改正

◎町職員の給与に関する条例  
人事院勧告に伴う改正

**指定管理者の指定**

◎木材利用促進加工施設  
指定管理者  
株式会社 清建設



木材利用促進加工施設 (清水地内)

**町道認定**

◎町道1014号線(植野)

幅員6m  
延長88m



**委員の任命同意**

◎教育委員会委員の任命同意

平松一彦氏(下津野)



**工事請負契約**

◎町道板尾大橋沿谷線  
道路災害復旧工事

9921万円



# を認定

歳出  
総額

一般・特別会計

## 259億4,784万円

### おもな事業

農村総合整備事業（小川地区） 8102万円



旧田殿保育所のリノベーション 1040万円



通路及びトイレ改修工事費 990万円  
測量設計監理委託料 50万円

ふるさと応援事業 1億5508万円



返礼品代（送料含） 1億4617万円  
システム使用料等 891万円

自治防犯費 1431万円



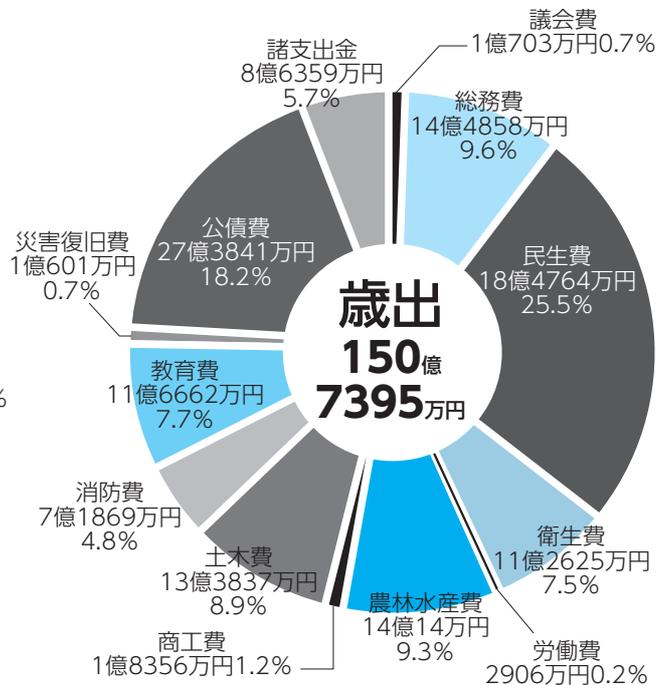
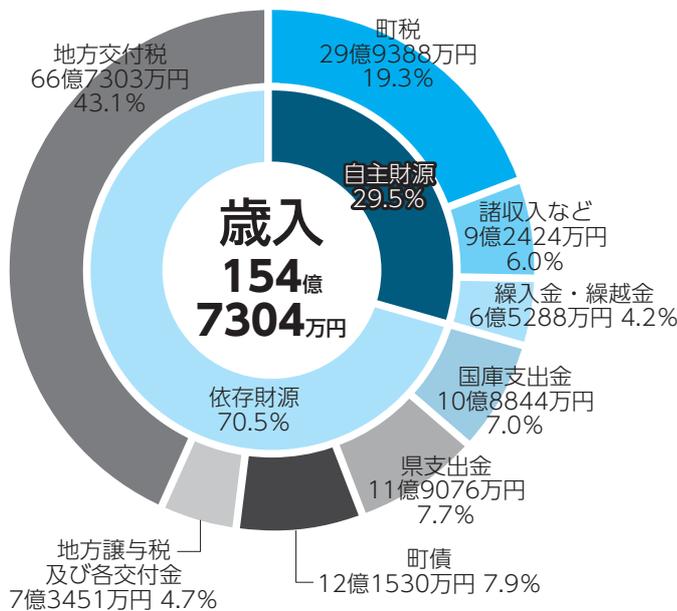
防犯灯 新設 61カ所  
LED化 515カ所

# 平成29年度 決算

平成29年度の決算額は、一般・各特別会計合わせて歳入総額264億8345万円、歳出総額は259億4783万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は4億8437万円の黒字となった。

町財政は国の財政指標を当てはめるとおむね良好と判断されるが、経常収支は90%に近づき硬直化が懸念される。より一層の合理化推進および長期的な展望に立った財政運営を要請し、全議案を認定した。

## 一般会計



### 【おもな特別会計】 (歳出総額 108 億 7389 万円)

会計	決算額	会計	歳出額
国民健康保険事業	42 億 741 万円	公共下水道事業	17 億 8674 万円
介護保険事業	30 億 6041 万円	簡易水道事業	7 億 1551 万円
後期高齢者医療	7 億 3908 万円	農業集落排水事業	2 億 8304 万円

### 【おもな基金残高】 (総額 139 億 7612 万円)

会計	決算額	会計	決算額
財政調整基金	40 億 8202 万円	減債基金	18 億 4647 万円
公共施設整備基金	29 億 4799 万円	合併地域振興基金	13 億 9446 万円



新成人の皆さま  
おめでとうございます



年明け恒例  
新春マラソン大会



求む!



広報委員会では、議  
会広報誌「かわら版」  
の表紙を飾る写真・イ  
ラストなど、町民の皆  
さんから募らせていた  
だいております。  
有田川町の名所や風  
景など、お気軽にご応募  
ください。  
皆さんからのご意見  
ご感想もお待ちしております。

議会広報編集  
特別委員会

- ◎ 増谷 英世
- ◎ 小橋 竜二
- ◎ 中島 詳裕
- ◎ 星島 仁志
- ◎ 片岡 進之
- ◎ 岡省 吾

◎は委員長  
◎は副委員長

編集後記

新年あけましておめで  
とうございます。  
この「かわら版」が皆  
さまのお手元に届くころ  
は、2月に入っている  
と思いますが、本年もよ  
しくお願いいたします。  
早いもので昨年皆さま  
方にご支持いただき1年  
が過ぎようとしておりま  
す。振り返ってみますと  
この一年、新人議員とし  
ての活動は思い悩むこと  
しきりでありました。  
今年はいノシン年、猪突  
猛進とはいきませんが、責  
任感を持って皆さまの期  
待を担ってがんばります。  
議会広報を通じて町民  
の皆さまに、われわれ議  
会の役割や活動を、より  
分かりやすくお伝えする  
ことが大事と考えます。  
これからも編集委員一  
同、更なる誌面の充実を  
図るため研鑽を積んでま  
いります。(中島詳裕)

お問い合わせ ☎52121111  
吉備庁舎4階 議会事務局まで